

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 新連載 テレリアスの食卓―河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声



高市のヒステリーとは別次元で、放送法「暴露文書」の本質はもっと深い。安倍・菅時代の間、メディアは権力の脅しと圧力を黙認し、易々と服従し続けた。背骨を抜かれた放送の自由は、元には戻らない。(110頁)

- 80 金融の世紀―黒木亮
- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 めんな千一夜―石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 夢の医療遺伝子治療で成果続々
- 102 情報工学者が足りない日本―先端科学で凋落の主因
- 104 H3ロケット「失敗」の本質―JAXA解体が再出発の近道
- 106 結局延命する新興宗教団体
- 108 若年女性「支援ビジネス」の闇―福祉行政が救われぬ「性搾取」の実態
- 110 日本のサンクチュアリ・シリーズ 583
- 放送法と安倍政権―検証・テレビ局「屈服」と自主規制

3 連載(巻頭インタビュー)ウイリアム・ペセック―黒田日銀が遺した「金融の罫」

6 世界は「新たな戦前」に
―一九三〇年代と「米中対決」の類似点

- 12 トランプ訴追で共和党はどうなる―「バイデンの対抗馬」選びの混沌
- 14 ドイツ「原発全停止」で大混乱―石炭依存増大とEU内の対立
- 16 ポーランドの露骨な「中国傾斜」―本性は反ロシアの「権威主義国」
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 プーチンの惨めな「停戦構想」
- 24 サウジとイラン「虚構」の国交正常化
- 28 タイ政界を汚染する「中国マフィア」―閣内閣外がばら撒く「紅いカネ」
- 30 北朝鮮が熱望する対露「備兵輸出」―無法国家同士「相互支援」
- 32 日米韓「核の傘」共同の深化
- 34 台湾軍「スパイ報道」で大騒動
- 36 中国が「シベリア支配」に本腰―弱体ロシアから資源を「強奪」
- 38 連載(現代史の言霊)四月の合意―北アイルランド和平合意成立(一九九八年)

世界を覆う金融不安。鮮明になる経済のブロック化。中露の独裁側か、米欧日の民主主義側か、迫られる体制選択。2つの世界大戦の「暗い谷間の時代」に、いよいよ似てきた。米中は悪夢を回避できるのか。(6頁)



支持率の回復は、国民の「一時的気分」。物価高、増税、金融不安に火がつけば、すぐに逆回転が始まる。政権の支柱は「森・麻生」の2老人で脆い。長期政権に早くも自信満々だが、さすがに増長が過ぎる。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 広島サミット「岸田劇場」の盲点
- 48 岸田の楽観「再選戦略」
- 52 連載(政界スキャンダル)「安倍の者たち」の落日
- 54 四月補選「自民二勝三敗」の可能性
- 56 岸田と茂木「無責任体制」が露呈
- 58 連載(罪深きは)この官僚「葛西健」―見え透いた「奇襲作戦」の成否

- 60 巨大発電会社「JERA」の権力闘争
- 62 JOGMEC「脱炭素事業」の暴走―経産省「植民地の無謀な業務膨張」
- 64 米銀行「ショック」のこの先
- 66 連載(クローズアップ)都筑豊(東武鉄道次期社長)―「根津家の家業」を仕切れるのか
- 68 連載(企業研究)住友不動産―金融不安で膨らむ経営リスク
- 72 トヨタの戦略なき「生産計画」―途方に暮れる下請けと販売会社
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載(地方金融の研究)足利銀行―自治体から「手数料徴収」で非難轟々
- 82 M&A「仲介営業マン」の光と影―イマドキ「高給取り」の生態
- 84 三井住友が抱えた「二つの爆弾」
- 86 エネオスと「性暴力」杉森の腐れ縁

「金融システムは大丈夫」。そう連呼するが、マグマの噴出は止まらない。確かに大手銀行は盤石だろう。だが、破綻予備軍は増加し、「群発地震」を繰り返そう。最大限の警戒が、日本でも必要だ。(64頁)

